

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的で体験的な学習やICT教育を通して、基礎学力の伸長や表現力の育成を図る。 ○福祉体験などを充実させることで「福祉の心」を育み、他者を尊重し、協働して地域社会に貢献できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学ぶ意欲を高める教育課程の編成や多様な教育的ニーズに応える授業に取り組む。 ○支援教育の視点を踏まえた授業作りを推進し、総合的な探究の時間や選択科目を核にして、福祉教育の充実に取り組む
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の生徒の特徴や傾向を理解した上で指導に当たり、生徒の自己指導能力を育成することで問題行動の未然防止を図る。 ○多様化の進む生徒の特性を多面的に理解し、生徒個々の教育的ニーズに即した、より適切で必要な支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員間で生徒の情報を共有しやすい組織を作り、生徒の行動の背景を理解した上で適切な指導を行う体制を作る。 ○SC等の外部人材や外部機関との連携を踏まえた教育相談体制を確立し、生徒一人ひとりのニーズに応じた支援を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣や基礎学力を伸長し、多様性を強みに個性を伸ばすキャリア教育を推進する。 ○特性による学習上又は生活上の困難の改善、克服を目的とした通級による指導を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導と進路指導の一体化により、円滑な社会接続に必要な力を育てる活動の充実を図る。 ○生徒の得意分野を伸ばす指導の充実や指導上の配慮により、対人関係や集団参加がスムーズになるよう努める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の活動の質の向上を図り、生徒主体の地域貢献活動を推進し、未来社会を生きるために必要な力を育成する。 ○PTAや地域と協働・連携して活動する場を増やし、社会性や連帯性を身に付けることにより、地域社会に貢献する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動・部活動の質の向上と活性化により、生徒主体の地域に開かれた体験活動を企画・運営させる。 ○PTA・地域と連携した行事や自治体との協働による防災訓練、連携行事を積極的に推進、生徒が社会や地域の一員としての自覚を高めることを目指す。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員をはじめとした多様な人材の意見を集め、社会に開かれた安全で安心な学校づくりを目指す。 ○組織的、計画的、継続的に校内研修を行うことで、教員一人ひとりの資質と学校の教育力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員の意見を反映させ、既存の取組の更なる充実を図るとともに、学校運営の改善、充実を図る。 ○支援教育や問題行動等未然防止推進に係る研修に取り組み、知識やスキルを体得するとともに教育実践に活かす。